

# 決算で見る 四日市の挑戦

## 令和5年度決算報告

### 市の事業は皆さんの生活に直結しています

令和5年度決算が8月定例会議会で認定されました。決算は、皆さんの大切なお金が何に、どのくらい使われたのかをまとめたものです。少子化対策や道路の整備など、1年間の行政活動の結果が集約されているため、市民の皆さんにも見てもらいたい大切な資料です。

(金額は端数処理のため、合計があわないことがあります。)

### 一般会計・特別会計

Q 決算は黒字だったの？

A 一般会計と特別会計など※をあわせて、**72.8億円の黒字**でした

会計名	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	翌年度に繰り越すべき財源 (C)	実質収支額 (A) - (B) - (C)
一般会計	1,414億 3,702万円	1,345億 9,198万円	27億 7,367万円	40億 7,137万円
特別会計など	923億 917万円	891億 520万円	0円	32億 397万円
合計	2,337億 4,619万円	2,236億 9,718万円	27億 7,367万円	72億 7,534万円

※「特別会計など」とは、対象事業が限定されている次の8つの会計のこと

①競輪事業 ②国民健康保険 ③食肉センター食肉市場 ④土地区画整理事業 ⑤農業集落排水事業 ⑥介護保険 ⑦後期高齢者医療 ⑧桜財産区

令和5年度の取り組みを振り返りましたので、報告します。



Q 借金はいくら減ったの？

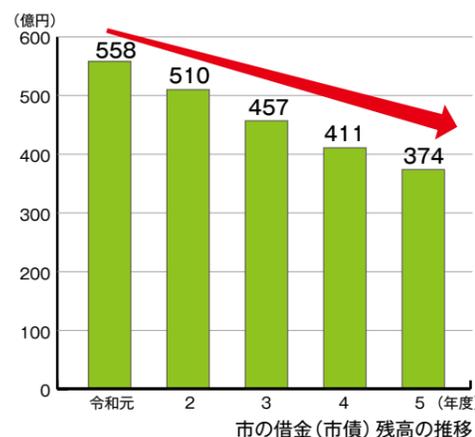
A 借金は**37億円減**りました

中央通り再編事業の工事などのため、新たにお金を借りましたが、全体では返済が進み、借金の残高は前年度より37億円減りました。

#### どうして借金をするの？

##### ■現在の市民と将来の市民の負担を公平にするため

道路や学校などは、長期間にわたり利用します。市債を発行して分割して返済することで、施設を整備したときの世代だけでなく、施設を利用できる幅広い世代で公平に費用を負担しています。



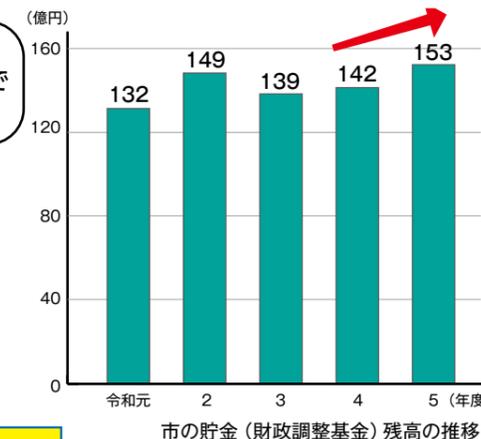
Q 貯金はいくら増えたの？

A 貯金は**11億円増**えました

災害などの不測の事態や、景気変動による減収に備えるため、貯金(財政調整基金)の確保に努めています。

令和5年度は、物価高騰などの影響により13億円を貯金から取り崩しましたが、前年度決算の余剰金などを積み立て、残高を確保しました。

着実に貯金をしているおかげで安心できるね。



Q 令和5年度に取り組んだ事業のポイントは？

A 本市での**結婚・子育てを応援する取り組み**を新たに始めました

全国的に少子化が進む中、本市を訪れる人や定住人口を増やすことが今後の課題となっています。豊かで幸せに暮らせるまちをつくるため、これからもさまざまな事業を進め、本市の魅力を高めていきます。

### 公営企業会計

病院・上下水道など、市が事業を運営するための費用



#### 水道事業

給水人口が306,597人に減少し、収入は減収となりましたが、事業収支は5億円の黒字を維持することができました。

主な事業として、基幹施設の耐震化、経年管の布設替え、経年施設の更新と、水源確保のための取水井更新工事を実施しました。

収益	74億円	5億円の黒字
費用	69億円	



#### 市立四日市病院事業

診療単価の上昇や入院患者数の増加による増収がありましたが、人件費や薬品・診療材料費、修繕費の高騰により11億円の赤字となりました。

インフラ設備(配管・配線など)や医療機器の更新のほか、Wi-Fi環境の整備など患者満足度向上に向けた取り組みも進めました。

収益	245億円	11億円の赤字
費用	256億円	



#### 下水道事業

処理区域内戸数は120,097戸に増加し、事業収支は11億円の黒字となりました。

主な事業として、汚水管渠の整備や、ポンプ場施設の耐震補強工事、処理場施設の機器更新工事などを実施しました。

収益	153億円	11億円の黒字
費用	142億円	

### 四日市市の財政指標

自治体の財政の健全化を判断する目安のひとつとして、「健全化判断比率」があります。いずれも、数値が低いほど財政状況は健全であると言えます。

本市の財政状況は「健全」

この指標を下回れば健全!

指標	内容	結果	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	0% 赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	0% 赤字なし	16.25%
実質公債費比率	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	3.3%	25.0%
将来負担比率	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	-10.3%	350.0%



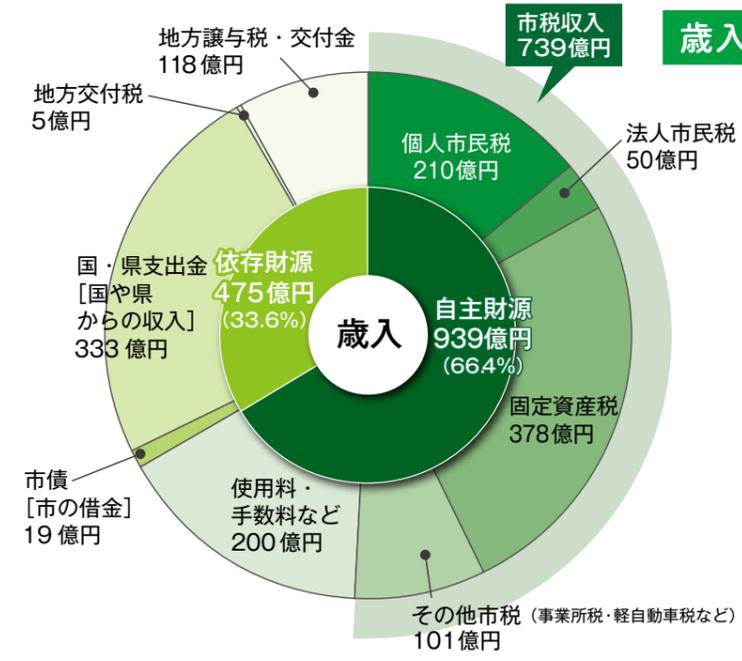
令和5年度の一般会計の決算状況は、歳入総額1,414億円、歳出総額1,346億円で、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支の額は、41億円の黒字となりました。

行政運営のために多くのお金を使っていますので、歳入・歳出がどのような中身になっているのか、見ていきましょう。

## どんな収入があるの？

**自主財源**  
市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できるお金で、自由に使うことができます。

**依存財源**  
国や県の基準に基づいて交付され、割り当てられる収入です。使い道が決められている場合が多く、特定の目的や事業に使います。



**歳入のポイント**  
市税収入が増加

市の歳入のうち、市税収入が約5割を占めており、自主財源の根幹を成しています。

市税は平成30年度をピークに減収が続いていましたが、令和5年度は5年ぶりの増収となりました。収納率は前年と同水準の98.5%でした。

一方で、国庫支出金が減少しています。これは、5類移行に伴い新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金が減少した影響によるものです。

詳しくは市ホームページまで



こんなお金もあります

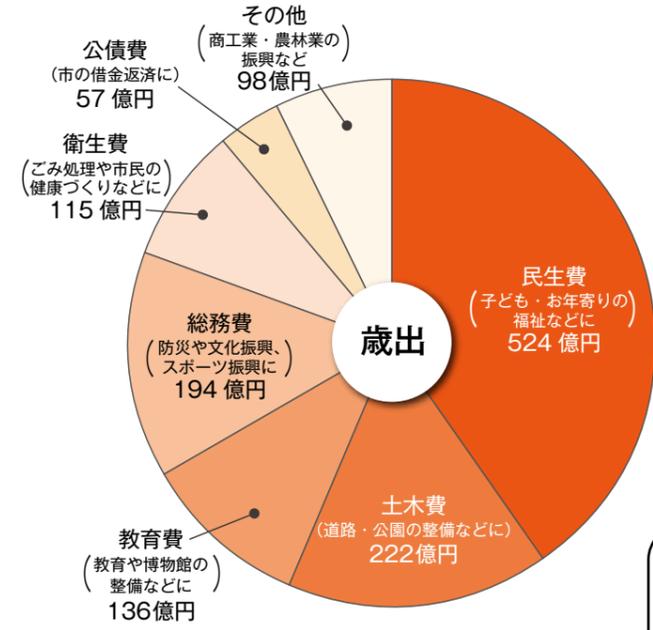
### 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

国から交付されたこの臨時交付金を活用し、地域経済や市民生活の支援に取り組みました。

事業名	充当額
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業費・事務費 住民税均等割非課税世帯へ給付金(3万円/世帯)を支給	9億182万円
四日市市子育て世帯生活応援給付金給付事業費・事務費 ①国・市特別給付金受給者に対し、給付金(2万円/児童)を支給(県応援給付金の対象児童を除く) ②児童扶養手当受給者または国・市特別給付金受給者に対し、給付金(最大3万円/児童)を支給 ※国・市特別給付金：(四日市市)子育て世帯生活支援特別給付金 ※県応援給付金：三重県低所得のひとり親世帯への生活応援給付金	2億3,550万円
スマートシティ構築促進補助金 戸建て住宅に導入される創エネ・蓄エネ・省エネ設備などへの補助金を交付	6,700万円
学校給食運営費(小学校・中学校) 給食費の価格を維持するため、食材料費の一部を公費負担	7,010万円

## どんな支出があるの？

歳出 1,346 億円 (前年度比 -41 億円)

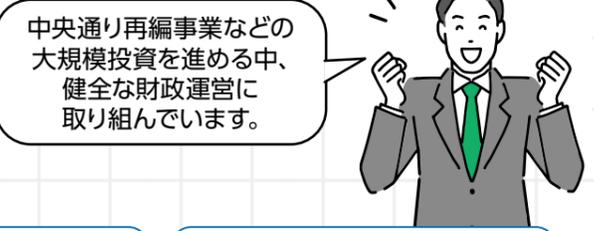


**歳出のポイント**  
中央通りの道路整備にかかる経費が増加

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、感染症対策関係経費が大きく減少した影響もあり、前年度に比べて歳出は減少しました。

また、令和4年度で学校給食センター整備工事が完了したため教育費が減少しています。

一方で、中央通り再編事業の事業量増加などで土木費が増加し、さらに物価高騰による緊急経済対策(給付金の支給)を実施したため、民生費も増加しました。



### たとえばこんなことに使われています

<p><b>土木費 (前年度比 +40 億円)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中央通り再編事業</li> <li>●バスタ四日市整備事業</li> <li>●生活に身近な道路の整備</li> </ul>	<p><b>教育費 (前年度比 -27 億円)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高花平小学校の改築・整備</li> <li>●常磐・三滝・富洲原各中学校の改修</li> </ul> <p>(改築後の高花平小学校)</p>	<p><b>衛生費 (前年度比 -20 億円)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各種検診の実施</li> <li>●ごみの収集、クリーンセンターの稼働</li> </ul>
<p><b>総務費 (前年度比 -29 億円)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オンライン手続きの拡充</li> <li>●スマホ教室などのデジタル活用支援</li> <li>●マイナンバーカードの申請支援</li> </ul>	<p><b>民生費 (前年度比 +28 億円)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもや障害者の医療費を助成</li> <li>●保育園・こども園の維持補修</li> <li>●高齢者の地域での見守り、支援体制の充実</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災教育センターの改修工事</li> </ul> <p>(災害特性を学ぶ四日市市マッピングシアター)</p>

# 令和5年度 主な取り組み実績

## 少子化対策事業

### 四日市マリッジサポートはじめました

結婚を希望する独身の人を対象に、セミナーや出会いの場となるイベントを開催しました。また、本市での新生活を応援するため、結婚祝い金の支給を始めました。令和6年6月には、結婚祝い金の支給が1,000組を突破しました。

◆ 事業費 8,671万円 【担当課：こども未来課】



### 2023東海・北陸 B-1 グランプリ in 四日市 開催

令和5年11月18・19日の2日間、東海・北陸を中心に全国のご当地グルメが集結したまちおこしの祭典を、三滝通り周辺で開催しました。まちに元気と活気を呼び込み、地域が一丸となってまちおこしに取り組みました。



◆ B-1 グランプリ事業費補助金 5,530万円 【担当課：観光交流課】

## 東海3県最大級

### 「よっかいち電子図書館」サービス開始

時間や場所を問わず読書を楽しんでもらうため、令和5年10月から「よっかいち電子図書館」サービスを開始しました。パソコンやタブレット、スマートフォンから電子書籍を無料で借りて読むことができます。音声読み上げ、文字の拡大表示機能を使って、誰もが読書を楽しめる環境の充実を図りました。

よっかいち電子図書館  
ホームページ



◆ 電子書籍の購入など 5,874万円 【担当課：図書館】



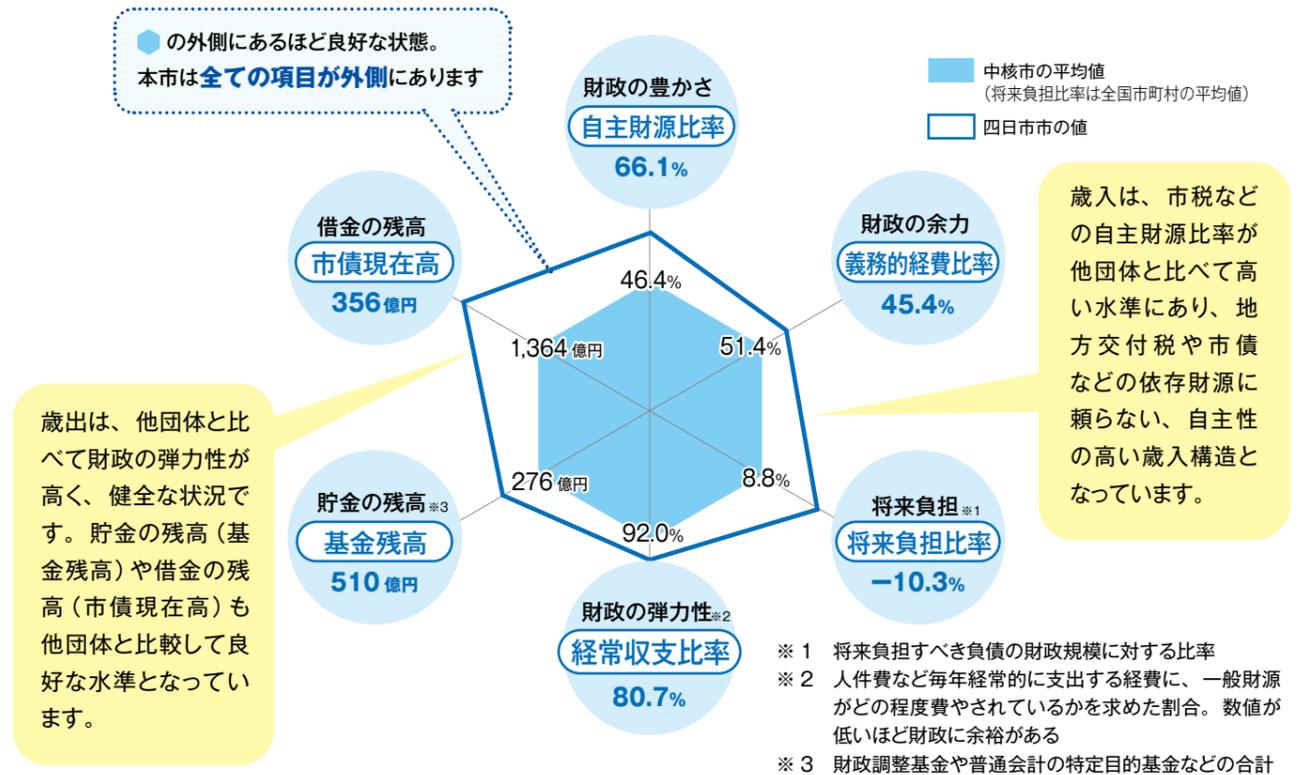
### 学校給食センター開所しました

市内全ての市立中学校に安全・安心な学校給食を提供するため、令和5年4月に開所しました。1日に最大約9,000食を調理し、市内の中学校に届けます。配送には二重食缶を使用し、温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま提供します。「安全・安心」で栄養バランスに優れた「からだにおいしい」給食により、本市の未来を担う中学生の健やかな心と体の成長を応援します。

◆ 管理運営費 6億 1,618万円 【担当課：学校教育課】

# 全国の都市と 財政状況を比べてみました

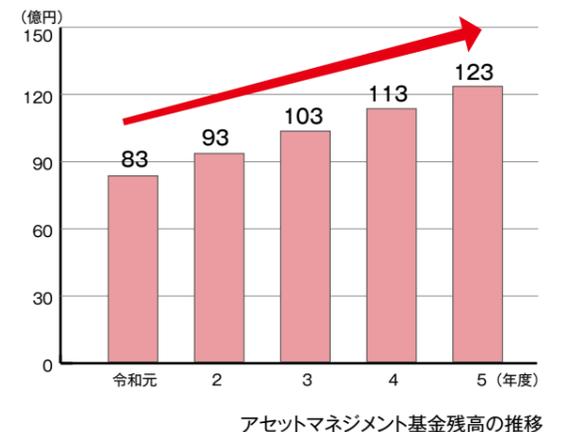
本市の令和5年度一般会計決算での財政指標を、地方財政白書などに基づいて、令和4年度中の中核市の平均値と比較しました。



# 公共施設の 更新準備をはじめています

昭和40～50年代ごろに整備した多数の公共施設などが、十数年後から老朽化・建て替えの時期を迎え、多額の財政負担が見込まれます。本市では、平成30年度に「アセットマネジメント(資産管理)基金」を設置し、小中学校の更新費用の積立目標額200億円に向けて計画的な積立を行っています。

令和5年度末のアセットマネジメント基金の残高は、123億円となり、年度目標(123億円)を達成しました。



県内の市町で比較しても、四日市市の財政状況は、良好な水準となっています。現在は、他市町と比べて市税をはじめとした自主財源が多く、地方交付税などに頼らない財政運営ができています。今後も総合計画に基づき着実に事業を進めるため、健全な財政運営を継続していきます。

この他にもさまざまな角度から本市の財政状況を分析しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

